

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 東濃実業高等学校 学校運営協議会（第3回）
- 2 開催日時 令和8年1月22日（木） 9：00～12：00
- 3 開催場所 東濃実業高等学校 あずさ館大会議室
開催にあたり、委員による学習成果発表会の参観を実施
- 4 委 員
岡田 泰子 委員長 中部学院大学短期大学部幼児教育学科教授
村田 直城 副委員長 パティスリーランド代表
伊左治有希 伏見保育園園長
山本 正憲 洞興寺住職
木下 健太郎 J Aめぐみの伏見支店長
平井 高子 ふしみこども食堂代表
細野 裕子 御嵩町薬師祭礼協力会
浅野 美保 本校PTA役員
堀部 佳彦 本校同窓会長

(学 校 側)
中澤 正仁 校長
澤田 徹 事務長
馬場 聖臣 教頭
山下由香理 教頭

5 会議の概要（協議事項）

（1）学習成果発表会参観（体育館）

（2）校則改正について

生徒会執行部から提案された校則の改正案について、学校運営協議会で承認が得られ、令和8年度から正式運用されることとなった。

（3）令和7年度 自己評価・学校関係者評価について

本校の年度当初の目標に対する年度末評価（自己評価）について報告した。

(4) 学習成果発表会の感想

意見1：それぞれ異なる発表形態で楽しめた。聴衆を意識した「見せる工夫」や本格的な舞台演出など、3年間の学びの成果を感じられた。1・2年生にも継承してほしい。

意見2：学校の教職員だけでなく外部講師の指導も取り入れた深い学びができている。

意見3：発表を参観した後輩が、自分も頑張りたいと刺激を受ける内容であった。

意見4：時代を経て学びも進化している。PDCAや報連相など、実社会で求められる力に自ら気づき、考え、行動へとつなげられている。

意見5：失敗した経験も含め、プロセスが発表できていてよかった。よい学びができていると感じた。

意見6：3年間の学びのプロセスがよく伝わる発表であった。1・2年生にとっても自分たちの現在地を確認し、次の学びにつなげるよい機会であった。

(5) 来年度に向けての意見 等

意見1：学校運営協議会からの意見を契機として、校則改正が迅速に行われたことに感動した。

意見2：PTAや学校運営協議会が連携し、よりよい学びにつながる設備や環境の整備を進めていけるとよい。

意見3：生徒の発表のなかにも企画するイベント等の情報発信が不足しているとの反省があった。SNS活用に加え、地域とつながる「顔の見える発信」が有効であるとする。本校の伝統や地域性を生かし、地元企業・商店等にも協力を仰ぐとよい。

6 会議のまとめ

- ・生徒の学習成果発表会の参観を通し、今年度の生徒の学習活動について理解を得られた。また、委員からは専門科の取り組みや生徒の学びなどについて、実社会でも役立つ深い学びであると評価する意見を得た。

- ・地域と学校が連携して課題解決に向けて動く仕組みが確実に機能しており、協働による学校づくりが着実に進んでいるとの評価を得た。

- ・今年度の学校運営協議会の委員からは、地域や保護者の立場で様々な視点から意見や提案を得た。今後の学校運営に生かせるよう具体的に検討していきたい。